

報告事項 3

平成24年度全国学力・学習状況調査の実施状況について  
このことについて、別紙資料に基づき報告します。

平成24年5月21日

義務教育課

# 平成24年度全国学力・学習状況調査の実施状況について

義務教育課

## 1 調査の概要

○平成24年4月17日(火) 国公立学校・私立学校の小学校6年、中学校3年で実施

○調査事項

- ・教科(国語、算数・数学、理科)に関する調査
- ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査
- ・学校に対する質問紙調査

○調査の方式

- ・抽出調査
- ・学校を設置管理者の希望による利用も可能

## 2 本県の抽出・希望利用の状況(名古屋市、特別支援学校を含む)

		抽出校数	抽出校の割合 (抽出率)	希望利用校数	希望利用校 の割合 (希望利用率)	抽出+希望利用 の割合 (参加率)
愛知県	小学校	112校	11.4%	135校	13.7%	25.1%
	中学校	94校	22.2%	51校	12.1%	34.3%
	合計 (22年度)	206校 (218校)	14.6% (14.8%)	186校 (151校)	13.2% (12.5%)	27.8% (25.5%)
全国		9,449校	30.7%	16,045校	52.2%	82.9%

※平成23年度は、震災の影響で、抽出方式による実施を見送った。

- 参加率(抽出校+希望利用校の割合)は、全国で最も低い。
- 抽出率については、統計上の精度が保たれているため、県全体の学力の実態については捉えることができる。
- 希望利用については、あくまでも学校の設置管理者の主体的な判断によるものである。
- 理科が加わったことを理由に新しく希望した学校があった。

## 3 調査結果の活用

- (1) 目的 各市町村教育委員会や学校が、全国学力・学習状況調査の結果を指導に生かすことを支援する。
- (2) 内容
  - ・総合教育センターの協力を得て、調査結果の分析をする。
  - ・調査結果をもとに、「学力・学習状況充実プラン」としてまとめ、配布する。
  - ・結果をもとに、国語力の育成に資するための取組を推進していく。
  - ・学力下位層の児童生徒への手立てとして、大学等と連携し、大学生による学習支援を推進する。